

資 料

- 1 熊本市上下水道事業経営戦略策定経過
- 2 熊本市上下水道事業運営審議会委員名簿
- 3 パブリックコメントの実施状況
- 4 用語解説

1 熊本市上下水道事業経営戦略策定経過

日 程	会議名等	審議内容等
平成 29 年（2017 年）6 月	上下水道局内検討部会	・局内検討部会の発足
平成 31 年（2019 年）3 月 29 日	平成 30 年度第 2 回 上下水道事業運営審議会	・経営戦略の概要説明
令和元年（2019 年）6 月 5 日	政策調整会議（庁内会議）	・骨子案の審議
令和元年（2019 年）8 月 22 日	政策調整会議（庁内会議）	・素案（案）の審議
令和元年（2019 年）8 月 30 日	政策会議（庁内会議）	・素案（案）の審議
令和元年（2019 年）10 月 4 日	令和元年度第 1 回 上下水道事業運営審議会	・諮問 ・素案の審議
令和元年（2019 年）10 月 16 日	令和元年度第 2 回 上下水道事業運営審議会	・素案の審議（継続）
令和元年（2019 年）11 月 20 日	令和元年度第 3 回 上下水道事業運営審議会	・答申
令和元年（2019 年）12 月 23 日～ 令和 2 年（2020 年）1 月 22 日	パブリックコメント （市民への意見公募）	・素案への意見募集
令和 2 年（2020 年）3 月	-	・公表

2 熊本市上下水道事業運営審議会委員名簿

(敬称略)

	区分	分野	委員名	所属
1	有識者	地下水関係	篠原 亮太	熊本県立大学名誉教授 熊本県環境センター館長
2		水質浄化関係	伊藤 紘晃	熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター助教
3		都市計画関係	川口 彩希	熊本高等専門学校 建築社会デザイン工学科助教
4		中小企業診断士	津曲 明子	一般社団法人熊本県中小企業診断士協会 (ふくろうコンサルタント事務所所属 中小企業診断士、社会保険労務士)
5	関係団体	経済団体	川田 晃仁	熊本商工会議所 総務部次長兼総務企画課長
6		環境保全関係	川野 由紀子	くまもと川の女性フォーラム 実行委員長
7	市民	一般公募	境 大介	-
8		一般公募	山田 大輔	-

3 パブリックコメントの実施状況

(1) 意見募集の期間

令和元年（2019年）12月23日（月）から令和2年（2020年）1月22日（水）まで

(2) いただいた意見の概要

市民の皆様からのご意見はありませんでした。

4 用語解説

(五十音順)

あ行

- **I o T (あいおーていー)**
コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々な物体(モノ)に通信機能を持たせ、インターネットへの接続や物体間の通信により、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うことをいう (Internet of Things)。
- **I C T (あいしーていー)**
情報通信技術のことで、コンピュータやネットワークに関連する諸分野における技術・産業・設備・サービスなどの総称をいう (Information and Communication Technology)。
- **赤潮 (あかしお)**
プランクトンが異常繁殖することにより海水、湖沼、池が着色する現象をいう。プランクトンの持つ毒性や溶存酸素の低下により、魚介類が死ぬことがある。
- **アセットマネジメント**
中長期的な視点で、効率的かつ効果的に施設等を管理運営する体系化された実践活動をいう。具体的には、「施設等 (モノ) のマネジメント (ストックマネジメント)」に「資金 (カネ) のマネジメント」と「人材 (ヒト) のマネジメント」を加えた事業資産全体を管理運営すること。
- **雨水バイパス貯留管 (うすいばいばすちよりゅうかん)**
浸水被害を軽減するために雨水を一時的に貯留する施設の一つであり、貯留機能を備えた雨水バイパス管 (下水道の排水能力を補うもの) をいう。
- **A I (えーあい)**
人工知能のことをいう (Artificial Intelligence)。推論・判断などの知的な機能を人工的に実現するための機能を備えたコンピュータシステム等を指す。
- **SDGs (えすでいーじーず)**
「持続可能な開発目標」のことをいう (Sustainable Development Goals)。2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標であり、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人取り残さない (leave no one behind) ことを誓っている。
- **応急給水 (おうきゅうきゅうすい)**
地震、渇水及び配水施設の事故などにより、水道による給水ができなくなった場合に、被害状況に応じて拠点給水、運搬給水及び仮設給水などにより、飲料水を給水することをいう。
- **大口需要者 (おおぐちじゅうしゃ)**
この経営戦略では、1月当たりの使用水量が500 m³以上の使用者をいう。
- **汚水 (おすい)**
一般家庭や工場・事業所等から生活や生産活動等によって排出される排水のことをいう。
- **汚濁負荷量 (おだくふかりょう)**
汚濁物質が水系に流入することにより、水域環境や水産業、農業、レクリエーション等に対し

て及ぼす悪影響を定量化したものをいう。

■ **温室効果ガス（おんしつこうかがす）**

二酸化炭素、一酸化二窒素、メタン、フロン類など、地球温暖化の原因とされるガスをいう。

か行

■ **カーボンニュートラル**

ある生産や活動を行う際の二酸化炭素の排出量と吸収量が変わらず、大気中の二酸化炭素の増減に影響を与えない性質のことをいう。

■ **外郭団体（がいかくだんたい）**

市の出資比率が25%以上で市議会に経営状況を報告する義務がある法人及びその他、市が設立当時から関与し、密接な関係を有する法人をいう。設置目的に即し、専門性を発揮しつつ、行政機能を補完・代替する役割を担う。

■ **合併処理浄化槽（がっぺいしよりじょうかそう）**

トイレ汚水と雑排水（生活に伴い発生する汚水）を処理する浄化槽をいう。これに対しトイレ汚水のみを処理する浄化槽を単独浄化槽という。浄化槽法の一部改正により、平成13年度以降は単独浄化槽を新たに設置することができなくなった。

■ **環境基準（かんきょうきじゅん）**

環境条件の改善という行政施策の指標を定めるものであり、人の健康を保護し、生活環境を保全するうえで維持することが望ましいとされる基準のことをいう。

■ **基幹管路（きかんかんろ）**

導水管・送水管・配水管（本市では概ね口径350mm以上）の総称をいう。

■ **企業債（きぎょうさい）**

地方公営企業の施設等の建設、改良等に要する資金に充てるための借入金をいう。

■ **給水区域（きゅうすいきいき）**

水道事業者が厚生労働大臣又は都道府県知事の認可（工業用水道事業においては経済産業大臣の許可）を受け、一般の需要に応じて給水を行うこととした区域をいう。

■ **給水栓（きゅうすいせん）**

給水管及びこれに直結した給水用具の末端部分に付けられている蛇口、水栓などの器具をいう。

■ **共助（きょうじょ）**

市民・住民同士が支え合い、助け合うことをいう。

■ **協働（きょうどう）**

同じ目的のために、市民・議会・行政それぞれが対等な立場に立ち、役割と責任を担い、協力することをいう。（熊本市自治基本条例第2条）

■ **業務継続計画（ぎょうむけいぞくけいかく）**

災害等による資源、人、物、資金、情報等の制限をあらかじめ想定し、災害発生時における機能の回復と災害対応を速やかに実施することを目的とした計画をいう。

- **熊本市上下水道事業運営審議会（くまもとしじょうげすいどうじぎょううんえいしんぎかい）**
上下水道事業の経営のあり方、事業の方向性等を総合的に審議するために設けられた上下水道事業管理者の附属機関で、学識経験者、関係団体代表者、公募市民により構成されるものをいう。
- **計画雨水量 5年確率（けいかくうすいりょう5ねんかくりつ）**
その地域で5年に1回程度発生する規模の降雨に対応できる下水道整備を行うことをいう。
- **下水汚泥（げすいおでい）**
下水処理の各工程から発生する泥状の物質をいう。
- **下水汚泥固形燃料化施設（げすいおでいこけいねんりょうかしせつ）**
南部浄化センターに設置された下水道汚泥を乾燥・炭化させ、火力発電の燃料を製造（低温炭化方式）する施設をいう。
- **下水道管路改善率（げすいどうかんろかいぜんりつ）**
改善（更新・改良・修繕）した管路延長（m）の割合を表したものをいう。管路の更新ペース等の全国比較において用いられることがある。
- **減価償却費（げんかしょうきゃくひ）**
固定資産の経年的価値の減少額を、毎事業年度の費用として配分するものであり、現金支出を伴わない費用をいう。
- **公営企業（こうえいきぎょう）**
地方公共団体が、設置し、経営する企業をいう。一般行政事務に要する経費が租税によって賄われるのに対し、公営企業の運営に要する経費は料金収入によって賄われる。
- **公共下水道（こうきょうげすいどう）**
主として市街地における生活排水や工場排水を排除し、下水処理場で処理してきれいになった水を河川や海に放流するもので、市町村が設置し管理するものをいう。
- **公共用水域（こうきょうようすいいき）**
水質汚濁防止法では、「河川、湖沼、港湾、沿岸海域、その他公共の用に供される水域、及びこれに接続する公共溝きよ、かんがい用水路、その他の公共の用に供される水路」と定義されているものをいう。
- **工業用水道（こうぎょうようすいどう）**
工業の用に供する水（水力発電の用に供するもの及び人の飲用に適する水として供給するものを除く）をいう。
- **高度処理（こうどしより）**
生活排水から窒素やリンといった富栄養化の原因物質等を多量かつ確実に除去できる高度な処理方法をいう。
- **合流式下水道（ごうりゅうしきげすいどう）**
汚水と雨水を同一の管路で排除し処理する方式をいう。
- **国庫補助金（こっこほじょきん）**
国庫支出金の一つで、特定の施策の奨励又は財政援助のための給付金をいう。

■ **コンセッション方式（こんせっしょんほうしき）**

利用料金の徴収を行う公共施設について、施設の所有権を公共主体が有したまま、施設の運営権を民間事業者に設定する方式のことをいう。水道事業については、今回の水道法の改正で事業の確実かつ安定的な運営のため公の関与を強化し、給水責任は自治体に残したうえで、厚生労働大臣の許可を受けて実施可能になった。

■ **再生可能エネルギー（さいせいかのうえねるぎー）**

一度利用しても比較的短期間に再生が可能であり、資源が枯渇しないエネルギーのことをいう。水力・地熱・太陽光・太陽熱・風力・雪氷熱・温度差・バイオマスなどがある。

■ **財政マネジメント（ざいせいまねじめんと）**

事業運営を財政的視点から管理していくことをいう。

■ **再任用職員（さいにんようしょくいん）**

定年退職等により一旦退職した者のうち、1年以内の任期を定めて採用している職員のことをいう。更新による任期上限は、65歳に達する年度の末日までであり、勤務時間は短時間勤務又はフルタイム勤務である（令和元年度現在では、短時間勤務が中心）。

■ **自己資金（じこしきん）**

返済の必要がない資金をいう。内部留保資金など現金の支出を伴わない減価償却費などが源泉となる。

■ **事後保全（じごほぜん）**

故障が発生してから処置を行うことをいう。

■ **自然流下（しぜんりゅうか）**

水が高い所から低い所へ流れることを利用して、丘陵地帯などの高台にある配水池、配水塔から水を自然に流下させて配水する方式をいう。地震や風水害等で停電になっても断水することなく水を配ることが出来る点で優れている。
下水では、管路勾配を利用して下水を輸送する方式であり、管路は下り勾配で布設する必要がある。

■ **収益的収支（しゅうえきてきしゅうし）**

収益的収入及び支出をいう。企業の経常的経営活動に伴って発生する収入とこれに対応する支出をいう。

■ **受援体制（じゅえんたいせい）**

被災地の支援に來た他の事業体等を受け入れるためのハード面及びソフト面を含めた体制をいう。

■ **循環型社会（じゅんかんがたしゃかい）**

自然界から採取する資源をできるだけ少なくし、それを有効に使い、廃棄されるものを最小限に抑えることによって、環境への負荷を減らす社会をいう。

■ **消化ガス（しょうかがす）**

消化タンクで下水汚泥中の有機物が微生物の働きにより分解され発生するガスをいう。燃料としての利用のほか、消化ガスを用いたガス発電も実施されている。

- **浄化センター（じょうかせんたー）**
終末処理場のことをいう。汚れた水をきれいな水にして川や海に流す施設をいう。
- **上下水道についてのアンケート（じょうげすいどうについてのあんけーと）**
市内のお客さま 3,000 世帯を対象としたアンケートをいう。設問に答えながら上下水道事業への理解を深めていただくことを目指している。
- **硝酸態窒素（しょうさんたいちっそ）**
硝酸性窒素ともいう。窒素が酸素と結合して硝酸イオンの形になったものを硝酸態窒素という。水に溶けやすい性質で、地下水中の硝酸態窒素の主な原因は施肥、家畜排せつ物、生活排水である。
- **浄水場（じょうすいじょう）**
浄水処理に必要な設備がある施設のことをいう。原水水質により浄水方法が異なる。水道では、一般に浄水場内の施設として、着水井、凝集池、沈でん池、ろ過池、薬品注入設備、消毒設備、浄水池、排水処理施設、管理室などがある。
- **小水力発電（しょうすいりょくはつでん）**
ダムのような大規模な施設を使用せず、小河川・用水路・水道施設などを利用して行う水力発電のことをいう。発電量は小さいが、自然環境への負荷が少ないなどの利点がある。
- **処理区域内人口（しゅりくいきないじんこう）**
公共下水道により下水を排除することができる区域内の人口をいう。
- **新下水道ビジョン（しんげすいどうびじょん）**
平成 26 年に国（国土交通省）が、国内外の社会経済情勢の変化等を踏まえ、下水の使命、長期ビジョン、長期ビジョンを実現するための今後 10 年程度の目標及び具体的な施策を示したものをいう。
- **浸水実績図（しんすいじっせきず）**
過去に発生した浸水被害を地図上に表したものをいう。本市においては、市として把握している浸水箇所を対象としている。
- **新水道ビジョン（しんすいどうびじょん）**
平成 25 年に国（厚生労働省）が、今から 50 年後、100 年後の将来を見据え、水道の理想像を明示するとともに、その理想像を具現化するための当面の間に取り組むべき事項や方策を示したものをいう。
- **水源（すいげん）**
取水する地点の水のことをいう。
- **水洗化率（すいせんかりつ）**
下水道の整備が完了し、下水道が利用可能な区域内における下水道への接続状況を表すものをいう。
- **水道管路更新率（すいどうかんろこうしんりつ）**
前年度の管路総延長（m）に対して更新した管路延長（m）の割合を表したものをいう。管路更新ペース等の全国比較において用いられることがある。

■ 水道G L P（すいどうじーえるぴー）

水質検査機関が備えるべき組織、検査機器及び検査標準作業手順書等について定めた「水道水質検査優良試験所規範」の略称で、水質検査結果の精度と信頼性の保証を確保するための認定基準をいう（Good Laboratory Practice）。

■ スキルアップ

業務上必要とする知識や技術力などを習得することをいう。

■ スtockマネジメント

アセットマネジメントに内包される考え方で、持続可能な事業の実現を目的に、膨大な施設等の状況を客観的に把握、評価し、長期的な施設等の状態を予測しながら、施設を計画的かつ効率的に管理することをいう。

■ 生活排水対策重点地域（せいかつはいすいたいさくじゅうてんちいき）

水質汚濁防止法に基づき、都道府県知事が公共用水域の水質保全のために生活排水対策の推進が特に必要であると認め、指定した地域のことをいう。

■ セメント化（せめんとか）

下水汚泥（脱水汚泥）をセメント製造の原料とすることをいう。

■ 創エネルギー（そうえねるぎー）

エネルギー消費を抑制するため、消費量を節約するだけでなく、エネルギーを創り出そうとする考え方をいう。具体的には、太陽光発電、小水力発電、風力発電、太陽熱、バイオガス等の再生可能エネルギーの活用のほか、排ガス及び排熱利用（コージェネレーションシステム）、下水汚泥固形燃料化、下水熱などがある。

■ 送水管（そうすいかん）

消毒された上水を、浄水施設から配水池まで送る管をいう。

■ 装置産業（そうちさんぎょう）

事業を行ううえで大規模な施設・設備を必要とする産業をいう。水道事業を例にとると、水源地、配水池、管路、庁舎等が必要となる。

■ S o c i e t y 5 . 0（そさえてい5.0）

狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、新たな社会を指すもので、第5期科学技術基本計画において我が国が目指すべき未来社会の姿として初めて提唱されたものをいう。

I o Tで全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有されるようになるとともに、人工知能等により、必要な情報が必要な時に提供されるようになり、ロボットや自動走行車などの技術で、少子高齢化、地方の過疎化、貧富の格差などの課題の克服を目指すもの。

た行

■ 耐震化（たいしんか）

強い地震でも建物や管路等が倒壊、損壊しないように更新又は補強することをいう。

■ 地下水かん養（ちかすいかんよう）

雨水が森林や農地等で土中に浸透し、帯水層に地下水として貯えられることをいう。

- **地球温暖化（ちきゅうおんだんか）**
石油・石炭などの化石燃料の大量使用などによって地球大気の温室効果が進み、気温が上昇することをいう。
- **窒素（ちっそ）**
元素の一種で、大気中の約 80%を占めており、下水中では、アンモニウムイオン、硝酸イオン、有機性窒素等として存在し、リンと並んで水域の富栄養化の原因物質とされているものをいう。
- **長期前受金・長期前受金戻入（ちょうきまえうけきん・ちょうきまえうけきんれいにゆう）**
築造された施設等の財源となった補助金等を分割して収益化することをいう。築造された施設等（資産）は耐用年数に応じ、事業運営に資することになるが、国等から受けた補助金等もその築造された施設等（資産）の耐用年数に応じ、事業運営に資することになると考えられる。補助金等は築造時に全額現金として交付されるが、費用収益対応の原則から耐用年数（貢献する期間）に応じ、分割して現金収入を伴わない収益として計上される。会計上は、貸借対照表の負債の部に長期前受金（繰延収益）として計上し、耐用年数に応じ分割して現金収入を伴わない収益（長期前受金戻入）として損益計算書に計上する。
- **長寿命化（ちょうじゅみょうか）**
施設等が標準的な耐用年数を超えても従来の機能が維持できるように、予防保全的な維持管理と部分的な更新により延命化を実施することをいう。
- **調整池（ちょうせいち）**
水道事業では、水源池から送られる水の量と使用される水の量との調整を行うための池のことをいう。下水道事業では、大量の雨水が短時間に集中して水路へ流入したときに、雨水があふれてしまわないように、一時的に雨水を貯留するための施設のことをいう。
- **超微細式散気装置（ちょうびさいしきさんきそうち）**
従来の散気装置よりも微細な超微細気泡を発生させ、効率よく酸素を供給することで、使用電力を低減することができるもの。散気装置とは圧縮空気を気泡にする装置のことをいう。
- **貯水機能付給水管（ちよすいきのうつききゅうすいかん）**
給水管の途中に球形タンクのような貯水機能のついた給水管をいう。地震等の災害時に水道本管が断水したときは、タンク容量分の水道水を確保し、非常用の飲料水を提供することができる機能を持つ。
- **通増料金制（ていぞうりょうきんせい）**
従量料金について、使用水量が増えるほど 1 m³当たりの単価が段階的に高くなる料金体系のことをいう。
- **導水管（どうすいかん）**
河川、地下水などから取水した消毒されていない原水を浄水施設まで送る管をいう。

な行

- **南海トラフ地震（なんかいとらふじしん）**
日本列島の太平洋沖、「南海トラフ」沿いの広い震源域で連動して起こると警戒されているマグニチュード9級の巨大地震のことをいう。
- **農業集落排水（のうぎょうしゅうらくはいすい）**
農林水産省所管の農業振興地域内（及び一体的に整備可能な周辺地域）の農業集落における汚

水処理をいう。農業振興地域における農業用排水の水質保全、機能維持を図ることを目的に、原則として処理対象人口おおよそ1,000人程度に相当する規模以下を単位として計画、施工するもの。

は行

- **バイオマス**
再生可能な生物由来の有機性資源で化石資源を除いたものをいう。このバイオマスから得られるエネルギーのことをバイオマスエネルギーという。
- **配水管（はいすいかん）**
配水池などから、浄水を各給水地点まで供給する管路の総称をいう。一般的に、350mm以上の「配水本管」と300mm以下の「配水支管」に分類される。
- **排水設備（はいすいせつび）**
家庭内の便所・浴室・台所などから流れ出る汚水を上下水道局が設置した下水道施設（公共ます）に接続し、スムーズに排除するための施設をいう。
- **配水池（はいすいち）**
浄水施設から送られる水の量と使用される水の量を調整するための池をいう。浄水施設からはほぼ一定量の水を送るが、使用される水の量は時間帯によって大きな変化があるため、配水池で調整している。
- **配水量（はいすいりょう）**
配水池、配水ポンプなどから配水管に送り出された水量をいう。
- **パブリックコメント**
本市の行政計画等の政策立案過程において、素案の段階から公表し、市民の皆さまの多様な意見を求め、できる限り政策に反映させていく制度をいう。
- **BOD（びーおーでいー）**
生物化学的酸素要求量のことをいう（Biochemical Oxygen Demand）。水の汚れ具合を表す指標で、数値が高いほど水が汚れていることを示す。主に河川の測定に用いられる。
- **標準活性汚泥法（ひょうじゅんかつせいおでいほう）**
細菌等が集まってできる活性汚泥と汚水を混ぜて空気を送り込み、水に溶けている栄養分（有機物）まで全て細菌等に食べさせてしまい、その後微生物を沈殿分離させ、きれいな水だけを流す下水処理の方法のことをいう。
- **標準耐用年数（ひょうじゅんたいようねんすう）**
会計上の減価償却をするための標準的（又は法定）耐用年数のことをいう。実際の施設等の使用限界（実使用年数）とは異なる。
- **富栄養化（ふえいようか）**
海や河川等で窒素やリンなどの栄養物質が増えることをいう。富栄養化が進むと植物プランクトンの異常発生による赤潮の発生等につながる。
- **不明水（ふめいすい）**
下水道管路や汚水蓋の破損などの理由で下水道施設に流れ込んできた雨水や地下水等のことをいう（合流管の雨水を除く）。

- **分水施設（ぶんすいしせつ）**
河川の氾濫防止及び灌漑用水などのために別の水路を開いて水を分ける施設をいう。
- **分流式下水道（ぶんりゅうしきげすいどう）**
汚水と雨水を別々の管路系統で排除する方式をいう。分流式は、汚水のみを処理場に導く方式であるため雨天時に汚水を公共用水域に放流することがなく、水質汚濁防止の効果が高い。
- **閉鎖性水域（海域）（へいさせいすいいき（かいいき））**
湖沼や内海、内湾のように、外部と水の交換が行われにくい水域のことをいう。汚濁物質が蓄積しやすいため水質汚濁が進みやすく改善しにくいという性質がある。
- **ポンプ場（ぼんぷじょう）**
下水道管路は、自然流下で排水するため下流にいくに従い深くなることから、下水を浅い管路に揚水したり、雨水を公共用水域へ揚水したりするために必要な施設をいう。

ま行

- **マンホールトイレ**
下水道管路にあるマンホールの上に、簡易な便座やパネルを設置し、災害時において迅速にトイレ機能を確保するものをいう。
- **水需要（みずじゅよう）**
給水が必要とされる水の量をいう。将来必要とされる水の量を予測し、財政収支計画や施設等整備の計画を策定する。
- **水循環基本法（みずじゅんかんきほんほう）**
健全な水循環の維持と回復を図るため、水循環施策の基本理念や、国、地方自治体、事業者及び国民の責務を定めた基本法をいう。平成 26 年 3 月に成立し、同年 7 月 1 日に施行された。
- **水融通管（みずゆうずうかん）**
災害発生時等に水の安定供給を図ることを目的に、配水区間で水を相互融通するために整備する管路をいう。

や行

- **有形固定資産減価償却率（ゆうけいこていしさんげんかしょうきやくりつ）**
有形固定資産の減価償却の進展具合と資産の経過年数（古さ）を確認することができるものをいう。数値が高いと減価償却が進んでおり、資産の経過年数が長いことを表す。
- **有効率（ゆうこうりつ）**
配水量のうち、事業運営に有効に使われた水量（有効水量）の割合を表すものをいう。有効水量は検針によって得られる調定水量、洗管などで使用する局の事業用水量、メーター不感水量、消防用水量などからなる。
- **有収汚水量（ゆうしゅうおすいりょう）**
下水道事業において、処理した汚水のうち下水道使用料の徴収対象となった水量をいう。
- **有収水量（ゆうしゅうすいりょう）**
水道事業において、水道水として配水した水のうち、水道料金の徴収対象となった水量をいう。又は、工業用水道事業において、工業用水道水として配水した水のうち、工業用水道料金の徴

収対象となった水量をいう。

■ **予防保全（よぼうほぜん）**

施設等の寿命を予測し、異常や故障に至る前に対策を実施する管理方法をいう。

ら行

■ **ライフサイクルコスト**

ある施設等における初期建設コストと、その後の維持管理更新費用等を含めた生涯費用の総計をいう。LCC（Life Cycle Cost）とも表す。

■ **ライフスタイル**

その人の人生観、価値観を反映した生き方をいう。

■ **流総計画目標値（りゅうそうけいかくもくひょうち）**

熊本県の「有明海流域別下水道整備総合計画」の中で、有明海域の水質を改善するために定められた窒素やリンの総量にかかる目標値をいう。

■ **リン**

自然界ではリン酸及びその化合物の形で存在し、生物の増殖機能に重要な役割を果たしており、し尿、肥料などに多量に含まれているものをいう。湖沼、閉鎖性の海域などの富栄養化を促進する一因とされ、リンの環境基準が設定された水域では水質汚濁防止法の規制項目となっている。